

平成28年度
東京都市大学緑土会
幹事会資料

武蔵工業会館
平成29年3月24日(金)

平成28年度緑土会活動のふりかえりと今後の予定

作成日 2017.2.10

活動分類	担当 部会	実施(計画)項目	実施(計画)	実施(計画)
学 科 O B / O G 活 動 支 援	組織管理部会	1、総会の開催	本年度より参加者が出易い様に土曜日の午後に大学にて総会開催を計画、参加費を5000円とした	平成28年(11月)
	組織管理部会	2、幹事会の開催	学年幹事・代表幹事会 年4回開催予定	平成28年7月(10月、3月)
	総務会	3、役員会・代表幹事会の開催	役員会と代表幹事により緑土会の基本的な運営方針などを協議(役員に代表幹事)	平成28年4月、9(10月)
	総務会	4、総務会の開催	総会・幹事会・役員会前などに随時開催し、各会の議事次第・運営などを協議、来年度12回開催予定)	平成28年4、5、6、8、9月(10、11、12、1、2、3月)
	各部会	5、部会(部会)の開催(会報・HP、組織編集、財務、広報・校友会、学生支援)	広報校友会部会随時開催、会報・HP部会毎月未会報「りょくど」発行打合せ12回開催予定、組織編集部会総会・幹事会・役員会・代表幹事会など開催前打合せ、学生支援部会春と秋の学生支援活動打合せ	随時開催中
	組織管理部会	6、会員名簿整理・充実	校友会からのメールアドレス入手と整理、各会社・同期会・研究室・その他より名簿入手しメールアドレス会員の充実を図る	平成28年8月～平成29年3月予定
広 報 ・ 公 開 活 動	会報・HP編集部会	1、学科同窓会機関誌発行	計画段階であるが年に1～2回会報を発行予定、会員全員に配布ではなく500部程度の発行部数とする予定、総会やホームカミングデーなどメインの催し時に緑土会活動理解のために予定している、寄付金賛同者へ配布など今後検討予定	平成29年1～3月予定
	会報・HP編集部会	2、学科ホームページ毎月発行	ホームページの立上4月、毎月会報「りょくど」発行	平成28年4、5、6、7、8月発行
	学生支援・セミナー部会	3、講演会開催	総会開催時に講演会開催、今年度は川井しげお都議会議長(S46年卒業)	平成28年(11月)
学 科 学 生 支 援	学生支援・セミナー部会	1、現役学生への就職支援	「学生支援会」を緑土会主催で5月13日に開催。今年は、学生が初めて実務を経験出来る機会である『インターンシップ制度』をテーマに、事例紹介や意見交換を通じて、より積極的に当制度を活用し、学業と実社会との連携を図る様に企画し開催。 「インターンシップの勧め」をテーマに1号館3階13J教室にて開催(先生・学生60名、卒業生40名の参加者)、第2部は、1号館4階ラウンジ「オーク」にて意見交換会を開催。	平成28年5月12日実施
	広報・校友会部会	2、若手技術者交流会	新緑会の企画で、新入生向けに「社会人からの就活アドバイス(講演会)」(若手技術者交流会)を行う(卒業後3～4年生をターゲット) (リクルーターの担当の卒業生は立派すぎて話がかみ合わない、気楽に話せる卒業生がいい) 緑土会を通して卒業生の会社に依頼すると交通費負担は新緑会として必要がなくなると思うが、卒業生出席者が決まり次第、大学から会社宛に依頼文章を出してもらおうとよりスムーズ	平成28年10月12日実施決定
	会報・HP編集部会	1、新緑会(学生同窓会)とのホームページ交流会	緑土会ホームページと新緑会ホームページの相互連携の実施、「りょくどNO5」にて新緑会の紹介と記事掲載依頼済、今後ホームページを共同で作成し学生会員の緑土会への意識アップを図る	
	広報・校友会部会	2、新緑会(学生同窓会)との交流会の実施	緑土会幹部と新緑会の幹部とのコミュニケーション活動、年3回程度意見交換会の実施を行う	平成28年4月27日第1回実施
学 科 学 生 支 援	学生支援・セミナー部会	3、首都圏学科会員相互交流親睦会開催準備	「関東緑土会」を発足し首都圏特に東京での交流会の催しを今後活発化していく。総会が11月なので半年後の5～6月を目標に開催準備を行う、準備委員会の発足	平成28年10月、1月、3月予定
	広報・校友会部会	4、ホームカミングデーへの参加促進	緑土会として「ホームカミングデー」への参加を促す行動を起こす、広報・校友会部会担当	平成28年10月、1月、3月予定
	学生支援・セミナー部会	1、特別連続講義	緑土会の特別講義として「海外建設事業」について大学において学生及び一般人対象に連続講義	
	学生支援・セミナー部会	2、寄付講座	緑土会の寄付講義として「技術者倫理ほか」について大学において学生及び一般人対象に連続講義	

活動支援活動	学生支援・セミナー部会	3、技術見学会開催	卒業生在職会社等において現場見学会を開催 緑土会支援 「2016年東京都市大学 学生のための東名・新東名見学会」(対象は学生)	「東名・新東名見学会」7月20日開催 済、今後最低一回平成29年1月～3月迄
	学生支援・セミナー部会	4、緑土会セミナー(プロジェクトマネジメントセミナー)開催	都市工学科との共催で、渋谷サテライト教室にて建設プロジェクトに関する最新の話題提供及び討議を行っており、毎回2名の先生・経験者により講義。対象は緑土会会員であるが大学の名を高める意味でも一般聴講も可としており毎回4～5名の参加者がある。現在5年目	平成28年6月29日、8月31日(10月19日、12月21日)

○平成29年 緑土会活動スケジュール(案)

- 2017. 2.17 (決) 緑土会役員会・代表幹事会(武蔵工業会館)
- 2017. 3.24 (決) 緑土会幹事会・代表幹事会(武蔵工業会館 年度決算・新年度活動計画承認など)
- 2017. 4.21 (決) ~~緑土会役員会・代表幹事会~~(武蔵工業会館 関東緑土会前)
- 2017. 5.19 (仮) 関東緑土会(役員会・代表幹事会)(世田谷C P 学生支援会)
- 2017. 7.12 (仮) 緑土会役員会・代表幹事会(定例)
- 2017.10. 6 (仮) 緑土会役員会・代表幹事会(総会前)

① 緑土会

2017. 11. 11. 緑土会

平成29年度 事業実施 (計画案)

作成日 2016.10.28

活動分類	実施(計画)項目	実施(計画)	実施(計画)	平成28年度 実施済	
学科OB/OG活動 支援	組織運営活動	1、総会の開催	本年度より参加者が出易い様に土曜日の午後にて総会開催を計画、参加費を5000円とした	平成28年(11月)	今後実施予定
		2、幹事会の開催	学年幹事・代表幹事会 年4回開催予定	平成28年7月(10月、3月)	○
		3、役員会・代表幹事会の開催	役員会と代表幹事により緑土会の基本的な運営方針などを協議(役員に代表幹事)	平成28年4月、9(10月)	○
		4、総務会の開催	総会・幹事会・役員会前などに随時開催し、各会の議事次第・運営などを協議、来年度12回開催予定)	平成28年4、5、6、8、9月(10、11、12、1、2、3月)	○
		5、部会(部会)の開催(会報・HP、組織編集、財務、広報・校友会、学生支援)	広報校友会部会随時開催、会報・HP部会毎月末会報「りょくど」発行打合せ12回開催予定、組織編集部会総会・幹事会・役員会・代表幹事会など開催前打合せ、学生支援部会春と秋の学生支援活動打合せ	随時開催中	○
	交流活動	1、首都圏学科会員相互交流親睦会開催準備	「関東緑土会」を発足し首都圏特に東京での交流会の催しを今後活発化していく。総会が11月なので半年後の5～6月を目途に開催準備を行う、準備委員会の発足	平成28年10月、1月、3月予定	
		2、ホームカミングデーへの参加促進	緑土会として「ホームカミングデー」への参加を促す行動を起こす、広報・校友会部会担当	平成28年10月、1月、3月予定	
	広報・公開活動	1、学科同窓会機関誌発行	計画段階であるが年に1～2回会報を発行予定、会員全員に配布ではなく500部程度の発行部数とする予定、総会やホームカミングデーなどメインの催し時に緑土会活動理解のために予定している、寄付金賛同者へ配布など今後検討予定	平成29年1～3月予定	
		2、学科ホームページ毎月発行	ホームページの立上4月、毎月会報「りょくど」発行	平成28年4、5、6、7、8月発行	○
		3、講演会開催	総会開催時に講演会開催、今年度は川井しげお都議会議長(S46年卒業)	平成28年(11月)	
		4、緑土会セミナー(プロジェクトマネジメントセミナー)開催	都市工学科との共催で、渋谷サテライト教室にて建設プロジェクトに関する最新の話題提供及び討議を行っており、毎回2名の先生・経験者により講義。対象は緑土会会員であるが大学の名を高める意味でも一般聴講も可としており毎回4～5名の参加者がある。現在5年目	平成28年6月29日、8月31日(10月19日、12月21日)	○
		5、技術見学会開催	卒業生在職会社等において現場見学会を開催予定 緑土会主催	平成29年1～3月予定	
		6、会員名簿整理・充実	校友会からのメールアドレス入手と整理、各会社・同期会・研究室・その他より名簿入手しメールアドレス会員の充実を図る	平成28年8月～平成29年3月予定	○

学科学生支援	就職支援活動	1、現役学生への就職支援	<p>「学生支援会」を緑土会主催で5月13日に開催。今年は、学生が初めて実務を経験出来る機会である『インターンシップ制度』をテーマに、事例紹介や意見交換を通じて、より積極的に当制度を活用し、学業と実社会との連携を図る様に企画し開催。</p> <p>「インターンシップの勧め」をテーマに1号館3階13」教室にて開催（先生・学生60名、卒業生40名の参加者）、第2部は、1号館4階ラウンジ「オーク」にて意見交換会を開催。</p>	平成28年5月12日実施	○
		2、若手技術者交流会	<p>新緑会の企画で、新入生向けに「社会人からの就活アドバイス(講演会)」(若手技術者交流会)を行う(卒業後3～4年生をターゲット)</p> <p>(リクルーターの担当の卒業生は立派すぎて話がかみ合わない、気楽に話せる卒業年度がいい)</p> <p>緑土会を通して卒業生の会社に依頼すると交通費負担は新緑会として必要がなくなると思うが、卒業生出席者が決まり次第、大学から会社宛に依頼文章を出してもらおうとよリズムズ</p>	平成28年10月12日実施決定	
	交流活動	1、新緑会(学生同窓会)とのホームページ交流会	<p>緑土会ホームページと新緑会ホームページの相互連携の実施、「りよくどNO5」にて新緑会の紹介と記事掲載依頼済、今後ホームページを共同で作成し学生会員の緑土会への意識アップを図る</p>		○
		2、新緑会(学生同窓会)との交流会の実施	<p>緑土会幹部と新緑会の幹部とのコミュニケーション活動、年3回程度意見交換会の実施を行う、</p>	平成28年4月27日第1回実施	○
	学生の課外活動支援活動	1、特別連続講義	<p>緑土会の特別講義として「海外建設事業」について大学において学生及び一般人対象に連続講義</p>		○
		2、寄付講座	<p>緑土会の寄付講義として「技術者倫理ほか」について大学において学生及び一般人対象に連続講義</p>		○
		3、技術見学会開催	<p>卒業生在職会社等において現場見学会を開催 緑土会支援 「2016年東京都市大学 学生のための東名・新東名見学会」(対象は学生)</p>	<p>「東名・新東名見学会」7月20日開催済、今後最低一回平成29年1月～3月予定</p>	○

緑土会財務部会報告

1. 財務部会方針（2016 年 3 月 11 日幹事会報告）

- ・平成 29 年度より，財務部会長（兼会計担当）を皆川勝から伊藤和也に交代。
- ・新会員の会費については，当該年度の総会の支出，通信費で消える。ただし，大学で総会を開催すれば，支出は削減されるので，はがき通信費削減を実現する。
- ・学術基金への収入は退職教員寄付などであり，近年は支出のみ。この解決が急務。
- ・可能な限り学外者は学内者に，学内者は学外者に負担をかけないように活動することを目指す。
- ・学生会員は“会員”ではあるが学生であるので，負担が集中しないよう，基本的にはアルバイトとして考えるべき。

2. 緑土会の財政状況（5 月 10 日総務会報告）

(1) 経常費の現状

- ・経常費の赤字額は過去 15 年で平均 20 万円／年。14 年間で繰越金は 810 万円から 500 万円に。
- ・H27 年度は，校友会支援費を除いて，全体として収支トントン。
- ・近年は，定額預金利息がない。
- ・総会通信費は平成 27 年度で 17 万円。やや財政を圧迫している。（平成 26 年度以前は 30 万円超。）
- ・総会費用のみ抽出すると，最近の数年は 10 万円程度の赤字。

(2) 学術文化基金の現状

- ・退職の先生方の浄財と卒業生の寄付が財源。直近では小玉先生ご退職時にご寄付。
- ・利息収入もほとんどなく，長期的に減少。14 年間で繰越金は 450 万円から 270 万円に。

3. 平成 27 年度の校友会支援費の申請内容，助成実績とその取扱い（7 月 12 日幹事会報告）

(1) 申請内容

- ・都市工学科と共催のプロジェクトマネジメントセミナー（いわゆる緑土会セミナー）を申請。

(2) 助成実績

- ・一律支援 15 万円と，就職支援事業として，プロジェクトマネジメントセミナー 32 万円が，申請後の審査により平成 27 年 12 月 4 日に執行。

(3) 取り扱い

- ・一律支援は経常費の収入としている。
- ・プロジェクトマネジメントセミナー助成 32 万円は，学術文化基金の収入としている。

4. 幹事会（7 月 12 日）承認事項

財務部会所掌事項としては，以下の点が承認された。

- (1) 会計方法を平成 29 年度より予算決算方式へ変更する。→H28 年度試行中！

- (2) 年会費を徴収することは困難が多く，総会における実質寄付を上乗せして参加費とするなども含め，寄付を基本としてゆく。

(3) 経常費、学術文化基金、名簿会計の 3 つの財布を一本化する。→H29 年度より実施。

5. 平成 28 年度の校友会支援費申請内容提案（8 月 18 日）

本年度は、前年度と同様の申請方式である。また、支援方針は、9 月 24 日開催の校友会あり方検討会での検討を踏まえ、次年度に向けて校友会常任幹事会が固めてゆく方向。

申請内容

役員会・幹事会などの活発な運営活動、大学への寄付講座、緑土会セミナー、就職支援セミナー（H28 年 10 月緑土会会計に吸収予定。）、新緑会主催の若手技術者との交流会、土木 OB 等による見学会補助、その他（緑土会活動における学生参加に対する人件費など）

6. 会計監査実施と予算案等作成予定

- ・ 10 月 21 日、会計監査実施。併せて、試行中の H28 年度予算の執行状況を確認。
- ・ H29 年度は、予算決算方式とすることから、H29 年 3 月の幹事会に H28 年度の決算（監査実施）と H29 年度予算案を提出することとする。

7. 平成 28 年度総会承認を要する事項

- ・ 財務部会長（兼会計担当）を皆川勝から伊藤和也に交代提案。
- ・ 監事の高田真人（昭和 54 年）より交代の申し出あり、同氏から永尾浩一（平成 4 年）に交代提案。
- ・ 会計方法を予算決算方式へ変更。→会則改正は不要。
- ・ 経常費、学術文化基金、名簿会計の 3 つの財布を一本化する。→会則改正にて、学術文化基金廃止。

8. 校友会助成額（10 月 28 日幹事会報告時点）

- ・ 一律助成 150000 円
- ・ ウェブ版会報誌発行 130000 円
- 計 280000 円 →経常費収入とする。

校友会の支援方針→今後はこれを踏まえて、飲食費や会議費の節約に努めたい。

- ・ 一律補助は総会や各種会議などの開催助成
- ・ 会議開催にかかわる補助はしない。
- ・ 飲食費の補助はしない。
- ・ 会誌発行は重要。→緑土会他 2 学科
- ・ 大学の名を高める活動支援を重視。
- ・ 全学科 OB 会の支援総額は 400 万円以内
- ・ なお、就職支援活動については、他の支出項目の中で助成をしてゆく。
- ・ また、学科研究会連合と学科同窓会との連携活動については、補助対象とするが、学科同窓会等に補助として支出するのではなく、本部として考えていく。

9. 校友会助成額（H29 年 1 月 20 日皆川先生報告）

校友会常任幹事会にて、以下の追加支援が決定した。

・現役学生への就職支援	161,000 円
・若手技術者交流会	105,000 円
・新緑会との交流会	67,000 円
計	333,000 円

すでに支給されている 280,000 円と合わせて、今年度の緑土会への支援額は、613,000 円となります。

上記 613,000 円は校友会へ活動報告が求められます（3 月 31 日までに校友会事務局に提出）

活動内容	実施期日	費用金額
一律補助 (150,000)		
会報誌発行 (130,000)		
(1)校友会ホームページに掲載される会報「りよくど」の編集委員会開催費用として		45,236
(2)会報の PDF 化のデザイン編集費用として		
現役学生への就職支援 (161,000)		
「学生支援会」を 2016 年 5 月 13 日に開催した。テーマは、学生が初めて実務を経験出来る機会である『インターンシップ制度』とし、事例紹介や意見交換を通じて、より積極的な活用と学業と実社会との連携を図れるような企画とした。 第 1 部：「インターンシップの勧め」（13J 教室） 参加者：先生・学生 47 名，卒業生 41 名 第 2 部：懇親会（ラウンジオーク） 学生と卒業生との活発な意見交換などが会場全体で見受けられた。	2016 年 5 月 13 日	202,887
若手技術者交流会 (105,000)	2016 年 10 月 12 日	
2016 年 10 月 12 日（水）若手社会人の卒業生方を招いた講演会・懇親会を世田谷キャンパスにて実施。学生は講演会・懇親会ともに 40 人超の出席。とても有意義な交流の場となった。		対応する支出が見当たりません (帳簿上)
新緑会との交流会 (67,000)		
新緑会幹部と緑土会幹部の意見交換会	2016 年 4 月 27 日	対応する支出が見当たりません (帳簿上)
新緑会との交流会の一環として大成建設技術センターを訪問	2017 年 2 月 20 日	対応する支出が見当たりません (帳簿上)

○ 各団体の活動に対し、交通費を支援（交通費は）可成り負担して

10. 平成28年度予算執行状況（平成29年3月24日現在）

平成28年度の会計報告（途中経過）					
期間：平成28年4月1日より平成29年3月31日					
経常費					
収入	前年度繰越	5,069,155	支出	設備備品費	0
	総会会費	487,500		消耗品費	2,150
	総会祝い金	30,000		人件費	55,800
	新入会員会費	440,000		通信費	218,618
	定額貯金満期利息	0		会合費	190,997
	普通預金利息	3		慶弔費	46,200
	校友会支援	613,000		総会費	429,616
	貸与金返還	100,000		その他	2,934
計		6,739,658			946,315
	残額	5,793,343	円	次年度へ繰越	
学術文化基金					
収入	前年度繰越	2,754,045	支出	設備備品費	0
	定額貯金満期利息	0		消耗品費	0
	普通預金利息	0		人件費	120000
	セミナー	414,230		奨学金	0
	校友会支援	0		通信費	0
				会合費	0
				セミナー経費	345812
				緑土会賞	50604
				その他	108
計		3,168,275			516,524
	残額	2,651,751	円	次年度へ繰越→経常費へ統合	
名簿会計					
収入	前年度繰越金	1,912,739	支出	制作費	0
	名簿購入			印刷費	0
	普通利息			通信費	0
	定額満期利息			学術文化基金へ貸出	0
				その他	0
計		1,912,739			0
	残額	1,912,739	円	次年度へ繰越→経常費へ統合	

1.1. 平成 29 年度予算案

列1	列2	項目	小項目	H28決算(3月)	H29予算(案)	備考
収入	経常	前年度繰越		5,069,155	5,793,343	経常費分
	経常	総会等会費		487,500	515,000	5000円×100名 3000円×5名
	経常	総会祝い金		30,000	50,000	
	経常	新入会員会費		440,000	500,000	5000円×100名
	経常	定額貯金満期利息		0	0	
	経常	普通預金利息		3	10	
	経常	校友会支援		613,000	300,000	今年度実績の半分程度 【H28年度】 当初：280,000円 追加：333,000円
	学術	前年度繰越		2,754,045	2,651,751	学術文化基金分
	学術	定額貯金満期利息		0	0	
	学術	普通預金利息		0	0	
	学術	セミナー経費		414,230	500,000	
	学術	校友会支援		0	0	
	名簿	前年度繰越		1,912,739	1,912,739	名簿会計分
	名簿	名簿代金		0	0	
	名簿	普通利息		0	0	
	名簿	定額利息		0	0	
		計		11,720,672	12,222,843	
支出	経常	設備備品費		0	0	
	経常	消耗品費		2,150	140,000	ウェブ会誌130000円含
	経常	人件費		55,800	60,000	
	経常	通信費	幹事会	17,272	60,000	15000円×4回
	経常		総会	201,346	100,000	半分程度と見積もり
	経常	小計		218,618	160,000	
	経常	会合費	代表幹事会	20,400	20,000	10000円×2回
	経常		幹事会	45,200	150,000	50000円×3回
	経常		その他	125,397	50,000	総務会 部会等
	経常	小計		190,997	220,000	
	経常	雑用費		46,200	50,000	
	経常	総会費		429,616	420,000	4000円×105名
	経常	その他	印刷代	28,080	15,000	半分程度と見積もり
	経常		輸送代	7,764	5,000	半分程度と見積もり
	経常		手数料	324	1,000	
	経常	小計		2,934	21,000	
	学術	設備備品費		915	5,000	
	学術	消耗品費		12,604	15,000	
	学術	人件費	寄付講座	70,000	70,000	技術者倫理
	学術		講師謝礼	50,000	50,000	海外建設
	学術		その他	0	10,000	
	学術	小計		120,000	130,000	
	学術	奨学金		0	130,000	社会基盤施設見学会半額 補助次年度より130000円 の一部補助
	学術	セミナー経費	緑土会セミナー会場費	142,925	150,000	
	学術		就職支援セミナー会合費	202,887	250,000	
	学術	小計		345,812	400,000	
	学術	緑土会費		50,604	60,000	
	学術	その他		108	3,000	
	名簿	通信費		0	0	
	名簿	会合費		0	0	
		計		147,635	1,814,000	
		収入合計		10,243,314	10,430,243	

1 2. 緑土会の運営資金調達について

本年度の幹事会で以下のように決めたいと思います。

- ・終身会費以外の会費徴収はしない（実施の負担が大きすぎる）
- ・総会費等に上乘せをして徴収する方法が現実的でよい。
- ・寄付について、税制上の優遇を可能とする方法は緑土会のみでは無理
（企業からの寄付に関連して、要望があったと思います。）

以 上

I、平成28年度 広報・校友会部会 活動報告

1、広報・校友会部会 活動

(1) 広報活動

- ① 総会出席広報活動 (顧問船越氏との打合せ)
 - ・2016/5/27、7/12、7/20、8/9、8/18、9/16、10/12、11/10、12/12、12/27、2017/1/10、3/17
- ② 東京都市大学都市工学科・同緑土会共催 プロジェクトマネジメントセミナー開催支援
 - ・プロジェクトマネジメントセミナー(6月29日、8月31日、10月19日、1月11日)への広報・校友会部会として出席と、開催報告書作成ホームページへの掲載
- ③ ホームページを活用した幹事会・総会の開催案内と参加呼びかけなどの広報活動
 - ・りょくどNO1号発行済み、NO2号発行済み、NO3号発行済み、NO4号発行済み、NO5号発行済み、NO6号発行済み、NO7号発行済み、NO8号発行済み、NO9号発行済み、NO10号発行済み、NO11号発行済み、NO12号発行予定
 - ・基本的に月末発行
 - ・月末に「会報・ホームページ部会」開催
- ④ 校友会富岡製糸場バスツアー参加(緑土会会員参加者6名)
 - ・校友会新美砂会「迎賓館赤坂離宮本館内部見学&東京タワー入場券付バスツアー」(緑土会会員参加者3名)、ホームページへの掲載
- ⑤ 支部設置支援活動
 - ・今回は佐藤工業支部設立要望の声を校友会に伝えて支援
 - ・会員の皆様で職場支部・地域支部の設置を希望する場合には「支部設置承認願」の提出支援(役員名簿・会員名簿・支部規約・その他書類が必要)
- ⑥ 「クラス会だより」を通じて緑土会会員の親睦を支援
 - ・各卒業年代・研究室・クラブ活動・職場支部・地域支部他での緑土会会員の活動情報収集と広報・ホームページ掲載による活動支援
- ⑦ 「在校生・卒業生・先生方の研究発表・近況報告等の広場」を通じて緑土会会員の活動を支援
 - ・会員個人での緑土会会員の活動情報収集と広報・ホームページ掲載による活動支援

(2) 校友会との連携について

- ① 校友会事務局（ホームページその他）との打合せ
- ② 校友会からの名簿資料入手
 - ・校友会広報委員会・IT部会が大学と共同で名簿管理システム今年度中に構築予定
- ③ 校友会との打合せ
 - ・「平成28年度事業実施（計画）支援申請書」について
 - ・申請基準の早期作成依頼 校友会事務局・海老沼幹事（総務担当）
- ④ 校友会より：次期会長候補者推薦委員（候補者）の選出について（お願い）への対応
 - ・緑土会としては、緑土会役員会・校友会役員・幹事（山田・松下・中埜・谷口各氏）同意のもと校友会幹事兼務の丸山総務会長を推薦し1月26日に校友会に報告
- ⑤ 平成29年東京都市大学 校友会 賀詞交歓会参加
 - ・賀詞交歓会の記事、緑土会からの参加者を中心に写真もホームページ掲載
- ⑥ 東京都市大学 校友会]平成28年度 常任幹事会議事録配信についてホームページ掲載
- ⑦ 校友会各支部の情報をホームページ掲載
 - ・神奈川県内3支部合同企画として「国会議事堂見学会」、川崎支部 第3回講演会等の行事をホームページ掲載

2、各部会へのフォロー活動と広報活動

(1) 組織管理部会

- ・平本部会長（7月28日）との打合せ
- ・（平成28年度）第2回緑土会役員会・代表幹事会の件、ホームページ開催案内掲載、開催報告書作成掲載（20160712開催）
- ・10月28日幹事会の件、ホームページ開催案内掲載
- ・名簿情報について今後打合せ

(2) 会報・ホームページ編集部会

- ・黒沼部会長との随時打合せ
- ・7月HP、8月HP、9月HP、10月HP、11月HP掲載内容の確認、ホームページ掲載
- ・8/29、9/27、10/28、11/30、12/26、1/30、2/28、3/28の会報・ホームページ編集部会への出席
- ・寄稿依頼（部会だより）についての問題点確認

(3) 学生支援会・セミナー部会

- ・高橋部会長との打合せ
- ・新緑会との協力について高橋部会長に事前相談（メール）、今後の対応協議予定

- ・緑土会セミナー（6月29日、8月31日、10月19日、1月11日）への出席と開催報告書作成とホームページ掲載

- ・緑土会セミナーの担当部会について今後協議要

(3) 財務部会

- ・「平成28年度事業実施（計画）支援申請書」作成

3、新緑会との連携

- ・緑土会ホームページと新緑会ホームページの連携

9月30日に新緑会の紹介ページを作成、「りよくどNO6」に掲載

1月30日原稿受領「りよくどNO10」に掲載（後述）

- ・緑土会会報・ホームページ編集部会・原稿打合せへ新緑会関係者の出席

8月29日、9月27日、10月28日、11月30日、12月26日、1月30日、
2月28日、3月28日

藤岡広報担当出席、今後も継続出席依頼（後任も紹介受ける）

- ・8月24日 新緑会会長・広報担当コミュニケーション

- ・10月12日「社会人からの就活アドバイス」緑土会有志として船越・小林参加

大学OBへの参加呼びかけフォロー（東急・大成・世紀東急・大林道路・佐藤工業）

- ・「新緑会報 - CIM JAPAN 2016 レポート」として都市工学専攻大学院1年皆川研究室藤岡佳祐さん提供。2016年11月22日に開催された「CIM JAPAN 2016」の報告掲載

- ・2月20日にゼネコン研究所見学会計画実施 17名出席 緑土会有志として段取後援

4、11月12日 緑土会総会・講演会・懇親会出席についての依頼

(1) 緑土会OBの校友会支部に依頼（交通費共支部負担にてお願いしている）

- 1、茨城支部 小池精一支部長（緑土会 54年卒業）
- 2、福島支部 佐藤安宏支部長（緑土会 37年卒業）
- 3、栃木支部 関口行雄支部長（緑土会 44年卒業）
- 4、茨城支部 須藤賢一関東支部会会長（緑土会 49年卒業）
- 5、長野支部 上条貢前支部長（緑土会 40年卒業）
- 6、福島支部 佐藤安宏支部長（緑土会 37年卒業）
- 7、埼玉支部 岩間義人前支部長（緑土会 40年卒業）
- 8、千葉支部 宮崎義昭前支部長（緑土会 40年卒業）
海保芳久支部長（緑土会 49年卒業）

(2) 大学関係者・校友会・その他同窓会

(3) 各卒業年度のキーマンに依頼

(4) 各部会委員への働きかけ（各部会長担当）

II、平成29年度 広報・校友会部会 活動計画

昨年3月11日開催の「(平成27年度)第2回緑土会 幹事会」合意事項に基づき平成29年度の広報・校友会部会の活動計画を報告します

1、広報活動について

(1) 広報活動

① 緑土会活動の広報

・直接的な働きかけによる幹事会、総会開催案内、参加呼びかけ等

② 大学との共同開催案件の広報

・緑土会セミナーの情報提供、セミナーへの出席依頼と開催報告書作成

・各種就職支援活動

③ 校友会活動の広報

・校友会からのお知らせ・各種会議の議事録等の緑土会会員への周知・連絡

④ 在校生の新緑会との交流による広報

・新緑会会員とのコミュニケーション活動を通じて将来の緑土会活動への理解を深める

・新緑会を通じて広く在校生とのコミュニケーションを図る

⑤ 緑土会会員の活動状況の情報収集と広報

・各卒業年代・研究室・クラブ活動・職場支部・地域支部他での緑土会会員の活動情報収集と広報

・会員個人での緑土会会員の活動情報収集と広報

⑥ その他

・上記以外での緑土会会員の情報収集と広報

(2) ホームページを活用した多様な広報活動

① 上記広報活動を積極的にホームページに掲載し緑土会会員への情報提供

② 毎月末にホームページ会報「りよくと」を発行(会報・ホームページ部会との共同)

③ 来年度からは本格的に幹事会・総会開催案内、参加呼びかけ等をホームページを活用して積極的に行う

2、校友会活動フォロー活動について

① 緑土会を代表して校友会に幹事として5名参加(一名代表幹事)しているがその活動のフォロー

② 校友会の幹事が欠席する場合には必要に応じて代理出席し議事内容を幹事へ報告する

③ 校友会活動のフォローとは「原稿依頼・チェック」「依頼事項への対応」「活動状況把握」

④ 校友会からの依頼事項に対しての窓口として緑土会活動のフォロー

⑤ その他

組織管理部会 2017年活動計画

1. 部会メンバー

部会長 平本公男 (1978 世紀東急工業)
顧問 鈴木 高志 (1974 世紀東急工業)
副部会長 松尾史朗 (1982 五洋建設) 萩原秀司 (1983 世紀東急工業)
メンバー 山本純 (1995 五洋建設) 増田博之 (2002 五洋建設) 二村健太 (2009 五洋建設)
安済新吾 (1992 日本国土開発)
松本辰男 (1987 世紀東急工業)
相場淳司 (1984 東京都)

2. 部会開催と内容について

(部会開催に当っては、適宜、名簿の確認・緑土会活性化に向けての議論を含みます)

第1回部会 平成29年4月中旬開催
・学生支援活動に向けて (学生支援部会との連携)

第2回部会 平成29年6月下旬開催
・幹事会開催に向けて

第3回部会 平成29年10月下旬開催
・総会開催に向けて

第4回部会 平成30年2月初旬開催
・年間活動の振り返りと次年度の計画について

学年報告の一環変更により幹事会、報告、予定に改定。

以上

緑土会 会報・ホームページ編集委員会 活動報告と来期活動計画 20170324

1、平成28年度 会報・ホームページ編集委員会 活動報告

(1) 会報・ホームページ編集委員会の開催

- ・月末に「会報・ホームページ編集委員会」開催
- ・緑土会会報・ホームページ編集委員会として 8月29日、9月27日、10月28日、11月30日、12月26日、1月30日、2月28日開催済、3月28日開催予定

(2) 緑土会ホームページへの「会報 りよくど NO1～NO10」掲載

- ・りよくどNO1号発行済み、NO2号発行済み、NO3号発行済み、NO4号発行済み、NO5号発行済み、NO6号発行済み、NO7号発行済み、NO8号発行済み、NO9号発行済み、NO10号発行済み、NO11号発行済み、今年度はNO12号まで発行予定
- ・基本的に月末発行
- ・内容がだいぶ充実してきたので、皆さんにどんどん閲覧して頂きたい
- ・各部会メンバーへの「部会だより」への投稿依頼
- ・幹事、一般会員よりの原稿を依頼、随時原稿を募集しているので、どんどん送って頂きたい
- ・オリジナルホームページは廃止、ホームページは一本化とした

2、平成29年度会報・ホームページ編集委員会 活動計画

(1) 会報・ホームページ編集委員会の開催

- ・月末に「会報・ホームページ編集委員会」開催予定
- ・「部会だより」については「会報・ホームページ編集委員会」だけではなく「総務会」「財務部会」「広報・校友会部会」「組織管理部会」「学生支援・セミナー部会」の各部会に月毎に担当することなどを提案し充実を図る
- ・来年度は「部会だより」だけではなく広範に渡って会員の原稿収集、募集活動を広報・校友会部会と共に行う
- ・緑土会会員の活動状況の情報収集として各卒業年代・研究室・クラブ活動・職場支部・地域支部他での緑土会会員の活動情報収集

(2) 緑土会ホームページの適宜更新活動と毎月末に「会報 りよくど」発行予定

- ・ホームページの随時更新を行い、緑土会会員への情報発信を積極的に行う
- ・2017年4月末「りよくどNO13号」～2018年3月末「りよくどNO24号」
- ・緑土会活動を積極的にホームページに掲載し緑土会会員への情報提供
- ・来年度からは本格的に幹事会・総会開催案内、参加呼びかけ等をホームページに掲載
- ・上記については広報・校友会部会の広報活動の一環として積極的に行動する

(平成 28 年度) 学生支援・セミナー部会活動報告

- 04 月 12 日 緑土会役員会・代表幹事会出席
- ・今年度部会活動内容報告
 - ・学生支援会開催(案)説明
 - ・その他
- 04 月下旬～ 学生支援会開催準備
- ・議事次第、スケジュール調整
 - ・発表者および発表内容調整
 - ・配布資料収集および整理
 - ・開催当日役割分担および準備
- 05 月 13 日 学生支援会(緑土会主催)開催
- ・東京都市大学世田谷キャンパス 17:00～19:30
 - ・参加者 88 名
- 06 月下旬～ 学生支援会反省会
- ・個別面談、メール、電話等にて反省点と課題の抽出
 - ・次年度開催への改善事項等整理
- 07 月 12 日 緑土会役員会・代表幹事会出席
- ・部会活動報告
 - ・学生支援会開催および反省課題報告
 - ・その他
- 09 月 06 日 総務会出席
- ・各会議体の進め方他
- 10 月 07 日 東京都市大学都市工学科OBOG懇談会出席
- ・今後就活スケジュール等懇談
- 10 月 28 日 緑土会役員会・代表幹事会・幹事会出席
- ・総会議事の事前協議
 - ・部会活動報告
 - ・その他
- 10 月 28 日 学生支援部会打合せ(参集者 5 名)
- ・今年度上期の活動内容総括
 - ・今後活動スケジュール他
- 01 月 31 日 学生支援部会打合せ(参集者 8 名)
- ・今年度活動内容総括および来年度(2017)計画検討
- 02 月 06 日 緑土会拡大総務会出席 予定
- ・H28 年度活動内容総括および H29 年度(2017)計画検討

緑土会学生支援・セミナー部会 平成 29 年度活動計画(案)

I. 2017年1月31日(火)に部会を開催し、平成28年度活動内容の総括後、平成29年度の活動計画について討議を行った結果、当部会として以下の計画(案)を策定いたしました。

II. H28年度設定の役割における実績とH29年度の取組みについて

(別添「(平成28年度)学生支援・セミナー部会活動報告」参照)

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| ① 毎年春に学生支援活動の一環として「学生支援会」を開催する | ○：継続実施 |
| ② 大学主催のリクルーター会議に出席し大学の支援と「緑土会」をアピール | ○：継続実施 |
| ③ この活動をコンプライアンスに反しない範囲でホームページにて報告する | ○：継続実施 |
| ④ 緑土会セミナーの大学へのフォロー | △：改善実施 |

III. H29年度の活動概要について

- ① **【継続】** 2017.〇.〇開催予定の「学生支援会」に関し、テーマ・プログラム内容・実施担当者等の案を策定し緑土会の承認後、大学との協議と調整を進め、4月上旬までに案内状を発信する。
 - ・2017年テーマ：(仮)『インターンシップの勧め』、会場、イベントの運営事務局
 - ・イベント名称の設定、パネラーの依頼準備、大学の協力と学生への呼びかけ

- ② **【改善】** 都市工学科の講義である「技術者倫理実務編」に関して、学生教育の向上を図るべく、柏門技術士会と共に緑土会セミナーとして推進を図る。
 - ・学部3年生を対象に7回の講義

- ③ **【新規】** 学生を対象に、工事現場や研究施設等の見学会および講義等の開催を積極的に働きかけ、資質の向上への支援を図って行く。
 - ・学年別等の対象レベルに関し、大学や新緑会と協議し調整
 - ・緑土会として、見学会等の開催実績の整理と活用

- ④ **【継続】** 緑土会役員会・代表幹事会の開催前、四半期ごとに当部会を開催し活動の進捗状況確認や情報交換を行い、他部会(広報・組織・会報当)との連絡調整を図って行く。

※ 渋谷サテライトスタジオにおける「緑土会セミナー」(3カ月に1回程度)の運営支援業務に関しては、現実的に部会員による協力が困難なため、別途協力体制の検討を要望する。

IV. 年間スケジュールについて

スケジュールに関しては、役員会・幹事会の決定に準拠する。